

## ★2016 年度 川崎市タイムケアモデル事業「片平タイムケアセンター」事業報告

片平タイムケアは、片平こども文化センター内の地域訓練室をお借りして活動をしています。川崎市麻生区の地域の中学校や養護学校等に通う中高生の放課後や長期休暇における余暇の時間を楽しく過ごす場であり、他校の学生や幅広い年齢層のスタッフとの交流の場でもあります。また、障がい児を持つ保護者の方にとってはレスパイトをするための場にもなっています。

個性豊かな笑顔の絶えない子ども達に支えられ、2016 年度も無事に活動を終えることが出来ました。

### 利用状況

- \* 2017 年 3 月現在、登録人数 24 人(養護中—1 名・高—19 名 地域中 4 名)
- \* NPO法人「わになろう会・麻生」としての福祉有償運送事業登録送迎車(法人車—3 台、 自家用車—4 台)を活用して送迎。
- \* 平均受け入れ人数 (火)(木)9.7 人(7~13 人) (土)3.8 人(2~5 人)
- \* 月平均利用回数 4 回 年間延べ 実施日:147 日 利用者数:1,153 人
- \* 学校からの送迎希望は平均 90%
- \* タイムケアセンターから自宅送迎は平均 50%

### 活動内容

- \* 麻生区片平の地域訓練室で 火・木・土 開室
- \* 通常時の活動の流れ(15:30~の時など)  
各学校への迎え、または自力、保護者お迎え等で来室後 参加カード提出⇒着替え⇒手洗い⇒始りの会⇒みんなでおやつ⇒食器の片付け⇒自由遊び(ブロックや読書、CD視聴など)もしくは全体遊び(カラオケ大会、ゲーム大会、かるたなど)⇒ラジオ体操⇒帰りの会⇒自力か保護者迎え、もしくは送迎車で自宅まで送り。また、早い時間からの受け入れの際はおやつ作りや近くの公園へお散歩などを行い、他にも七夕や節分、ハロウィンなどの季節の行事もその都度積極的に取り入れております。
- \* 土曜日の活動の流れ(13:00~17:00)  
地域訓練室か北部療育センターで活動。土曜日は他の団体が地域訓練室を利用するため、活動の途中に北部地域療育センターへ移動をする日が多くなっています。室内では読書やおしゃべり、マットでのんびり過ごしたりトランポリンをするなどして活動をしています。  
晴れている日には外でブランコやお散歩、車を使って外部のイベントへの参加や少し離れた公園へドライブに行くなどを行っています。また、土曜日は利用者人数が少ないということもあり、ある程度自己管理のできている利用者には携帯ゲームの使用を時間を決めて認めており、お友達同士と一緒にポケモンなどのゲームで盛り上がっている様子が見られます。
- \* 長期休暇中の流れ(10:00~18:00)  
各活動日にスタッフ担当を決め、それぞれの日にちでスタッフ企画の料理やお菓子作り、ゲームや工作などを行っています。また、外出活動として、中央支援学校にて開催された「夏休みを楽しく過ごす会」に参加し、バルーンアートや合唱などの企画ををスタッフと利用者一緒に楽しみました。



## 成 果

- \* 今年度は外出する活動を例年よりも多く実施しました。通常の活動の際にも近くの公園に行き、ブランコや滑り台、砂遊びを楽しむ様子がよく見られました。また、夏休みには「夏休みを楽しく過ごす会」や「ちよいワルナイト」などの外部で行われたイベントに参加をし、通常の活動では味わえない体験に子どもたちも目を輝かせていました。また、家庭ではなかなかそういったイベントに連れて行くのが難しいので、タイムケアで連れて行ってもらえてありがたい、という保護者からの声もいただきました。
- \* 今年度も季節の行事は積極的に活動に取り入れていきました。お花見や節分、クリスマスのお散歩やゲーム、おやつ作りに関連付けて実施するもの、七夕やハロウィンのように作品を作るという形で実施するものなど、様々な利用者の性格や希望に合わせて活動を行い(お散歩が好き、お絵かきが好き、など)、毎回多くの子どもたちに興味を持って参加してもらえました。
- \* こども文化センターで今年度から月に 1 回開催されている「折り紙教室」に、タイムケアで参加をしております。講師の方が非常にわかりやすく丁寧に教えてくれるので、子どもたちも興味を持って折り紙を楽しんでくれていると共に、地域の子どもたちとの貴重な交流の場ともなっております。
- \* 以前から「始まりの会」や「終わりの会」の際に挨拶をしてくれる利用者を口頭で募集しておりましたが、より分かりやすく、そして立候補してもらいやすくするために「今日のリーダー表」としてホワイトボードに毎回リーダーさんを記載するようにしました。それにより、これまで挨拶などに興味を示さなかった方が自ら立候補してくれたり、こちらからお願いをすると恥ずかしながらも上手にやってくれたり、ふだんあまり見ない子どもたちの姿を見ることが出来ました。

## 課 題

- \* てんかん発作のある利用者が数名おり、転倒の可能性があるので特に注意をしてお預かりをしております。しかしそれでも年に何度かは転倒させてしまう事故があったので、歩行の際はマンツーマン対応、椅子に座る際は手すりのある椅子に座ってもらうなど、転倒による事故を減らせるようなスタッフ間の対応の徹底をしていきたいです。
- \* 新学期に入ったばかりの 4 月や、夏休み明けの 9 月など切り替えのある時期は、不安な様子になったり、テンションが異様に高くなったりと、利用者の調子の変化も大きくなる傾向が毎年あります。特に利用者が不調になっているケースの場合では、別室でクールダウンをしたりお散歩をして気分転換をするなどして、本人とその他の利用者それぞれが落ち着いて過ごせる環境作りが出来るよう、対応に気を付けています。
- \* 送迎時に、利用者同士の相性やこだわりによって配車を分ける対応をしています。本来 1 台の車でも乗りきれ人数の場合でも、利用者がより安心安全に活動場所まで送迎が出来るよう、事業所として可能な限りの対応は行っていきたいと考えています。
- \* 川崎市タイムケアモデル事業は 2017 年度をもって廃止となります。2017 年度以降の運営に関しては現段階では日中一時支援の制度を利用して地域の障がいを持った中高生の居場所作りを継続して取り組んでいく計画であります。2017 年度におきましては、川崎市の委託を受け、従来どおりのタイムケアモデル事業として実施していきます。地域で暮らす子ども達が心置きなく遊べる居場所、そして保護者の方が安心して預けられる場所を目指して、2017 年度もスタッフ一同取り組んでいきたいと思っております。